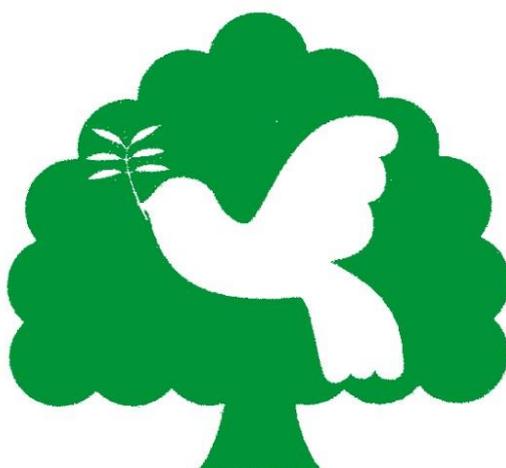


令和4年度
事業報告書



社会福祉法人
千葉アフターケア協会

目 次

はじめに	2
【法人全体の取り組み】	
中長期目標について	3
令和4年度法人目標について	4
【令和4年度業績報告】	4
【令和4年度資金収支計算書・事業活動計算書・貸借対照表の抜粋】	6
【役員会等開催報告】	7
事務局	9
<u>障害者支援施設ハピネス浜野</u>	10
生活介護	11
施設入所支援	12
短期入所	13
医務室・訓練室	14
【利用者行事等実施報告】	15
【利用者週間活動実施報告】	17
【ヒヤリハット・事故報告】	18
【千葉県への事故等報告】	19
<u>相談支援事業所ハピネス浜野</u>	
計画相談支援・障害児相談支援	20
<u>児童通所支援事業所ハピネス浜野</u>	21
児童発達支援	22
放課後等デイサービス	23
<u>グループホームセレニテ</u>	
共同生活援助	25
【法人職員研修・実習生受け入れ等実施報告】	27
【法人内委員会・諸会議実施報告】	28

はじめに

令和4年度は、法人の理事・監事が変更となり、より利用者、現場を理解し運営することに努めた。また、理事会において、次年度の事業計画・予算を評議員に傍聴をお願いし、運営の方向性を共有することができた。

障害者支援施設では、入所利用者の入院や通所利用者のコロナ感染症の予防対策、また、クラスター発生時の利用自粛等のため、減収となった。新型コロナウイルス感染症の予防対策として、事業所内の館内消毒、マスク着用、抗原検査の実施、ワクチン接種を実施したが、クラスターが発生し、利用者や家族へ心配と不安を与えてしまった。また、入所利用者の外出泊を月に2回までとし、通所利用者と入所利用者の接触を避けるなど、利用者にも感染防止対策にご協力をいただいた。

児童通所支援事業においても、利用者児童のコロナ感染症の予防として利用自粛があり、減収となった。相談支援事業所でも契約者の減少が見られた。共同生活援助は、減収とはならなかった。

【事業報告書において記載されている主な内容】

- ・令和4年度の目標やサービス方針に対しての報告事項
- ・当初予算対比の結果
- ・直近5年間の利用者の推移
- ・行事等実施報告
- ・事故に関する報告

【役員等総数】※令和5年3月31日現在

理 事 6名

監 事 2名

評議員 7名

評議員選任解任委員 4名（外部委員2名）

【職員総数】※令和5年3月31日現在

60名

【法人全体の取り組み】

中長期（令和3年度から3年間）目標について

1. 地域と共にある施設づくり

- ①防災を中心とした地域との連携による利用者の安全確保体制の強化
- ②地域住民や利用者家族からの要望に対し誠実に取り組む

[報告事項]

- 1) 新型コロナウイルス感染予防に必要な備品の確保に努めた。
- 2) 生浜地区地域福祉連携会議において、フードロス削減イベントの実行委員として参加した。

2. 社会福祉法人の使命の追及

- ①利用者の尊厳を保持し、安心・安全な介護サービスの提供を推進する
- ②快適な暮らしを提供するための施設整備の充実
- ③開かれた法人運営
- ④社会福祉充実計画の実施と検討

[報告事項]

- 1) 2階の脱衣室床の張替え、洗濯室床の塗替えを実施した。
- 2) 全ベッドマットレスの入替を行った。

3. 施設・職場環境の整備

- ①チームワークによる支援体制の充実を図る
- ②職員教育制度の充実を図る
- ③働き方、考え方の多様性を尊重し、職員の職場定着を図る

[報告事項]

- 1) 新型コロナウイルス感染症対応としてフロア制を導入し、各フロアにて利用者支援を実施した。
- 2) 介護福祉士国家試験の受験者（1名）が合格した。
- 3) 職員紹介制度の活用者が3名で、正職員・パート職員の紹介であった。

採用 8 名（入職率： 2 年度 13/62 21.0% 3 年度 6/59 10.2% 4 年度 8/60 13.0%）
退職 15 名（離職率： 2 年度 07/62 11.3% 3 年度 7/59 11.9% 4 年度 15/60 25.0%）

令和4年度法人目標について

法人の総合力を高める

～利用者の生活を守る施設づくり～

- 防災や感染症対策の強化
- 災害や感染症に対する情報共有と迅速な対応
- 法人規程の見直し

[報告事項]

- 1) 新型コロナウイルスによるクラスターが発生し、利用者へフロア移動の自粛等お願いした。利用者・家族に対して、迅速に感染等の情報を提供した。
- 2) 換気や消毒を行い密を避けて、活動や行事の内容を変更しながら支援を行った。
- 3) 感染症の備蓄備品の確保や使用方法を周知し、不足の無いよう管理した。
- 4) 定款の一部改正、定款細則の新設、育児・介護休業に関する規程を全面改正、給与規程の一部改正等、法人や職員に関する規程等の見直しを行った。

【令和4年度業績報告】

1 事業の経過及びその成果

サービス活動収益について

- 1) 令和4年度は、新型コロナウイルスの影響を鑑み、各事業の当初予算を前年実績同様とした。
- 2) 障害者支援施設並びに児童通所支援事業所は、平均利用者数が当初予算より減となった。

補助金・助成金申請について

- 1) ハピネス浜野建設時の設備資金借入金返済元金 11,000 千円と利子 121 千円に対して、千葉市から 3/4 額の補助金があった。
- 2) 特定求職者雇用開発助成金として、千葉労働局から 200 千円の補助金があった。
- 3) 千葉労働局から人材開発支援助成金（特別育成訓練コース）として 144,080 円、（一般訓練コース）として 196,600 円、（特定訓練コース）として 116 千円の補助金があった。
- 4) 身障協より新型コロナウイルス感染者への見舞金を申請した。
- 5) 物価高騰対策支援金（県・市）合計 1,596 千円を申請した。

支出について

<建物・設備等>

浴室（脱衣室）改修工事等を整備した。

<人件費・事業費・事務費>

(指標%)	令和3年度	令和4年度	前年比
人件費率 (60~70%)	63.2%	66.7%	3.5%増
事業費率 (13~15%)	12.4%	15.8%	3.4%増
事務費率 (13~15%)	17.2%	16.2%	1.0%減

<積立金>

・取り崩しなし。積立なし。

法人全体での予算・実績対比と前年度との比較

- 1) 資金収支計算書上の決算額は、概ね予算どおりの内容となった。
- 2) 事業活動計算書について、サービス活動収益は前年と比較して 19,641 千円の減収となった。
- 3) 今年度の経常増減差額は ▲15,343 千円となった。

2 予算・決算差異【資金収支計算書】

(単位：千円)

	予 算	決 算	差異 (予算-決算)	
事業活動収入	338,531	342,500	3,969	(101.2%)
事業活動支出	338,079	334,574	△3,505	(99.0%)
事業活動資金収支差額	452	7,926	7,474	
施設整備等収入計	8,250	8,250	0	(100.0%)
施設整備等支出計	15,001	15,443	442	(102.9%)
施設整備等資金収支差額	△6,751	△7,193	△442	
その他の活動収入計*	0	0	0	
その他の活動支出計*	2,000	1,631	△369	(81.6%)
その他の活動資金収支差額	△2,000	△1,631	369	
予備費支出	3,500	0	3,500	
当期資金収支差額合計	△11,799	△897	10,902	

*拠点区分間繰入金収入・支出及び、サービス区分間収入・支出も予算を立てたため。

3 収支の推移【事業活動計算書】

(単位：千円)

	令和3年度	令和4年度	対 比	
サービス活動収益	358,313	338,672	△19,641	(94.5%)
サービス活動費用	356,907	355,581	△1,326	(99.6%)
増減差額	1,406	-16,909	△18,315	
サービス活動外収益	3,199	3,828	629	(119.7%)
サービス活動外費用	2,505	2,261	△244	(90.3%)
サービス活動外増減差額	694	1,567	873	
経常増減差額	2,100	-15,342	△17,442	
特別収益	8,450	8,250	△200	(97.6%)
特別費用	116	72	△44	(61.2%)
特別増減差額	8,334	8,178	△156	
当期活動増減差額	10,434	-7,164	△17,598	

4 資産・負債の推移【貸借対照表】

(単位：円)

	令和3年度	令和4年度	対 比	
流動資産	99,808	96,257	△3,551	(96.4%)
固定資産	1,059,643	1,036,013	△23,630	(97.8%)
資産合計	1,159,451	1,132,270	△27,181	(97.7%)
流動負債	26,466	14,942	△11,524	(56.5%)
固定負債	23,616	34,450	10,834	(145.9%)
負債合計	50,082	49,392	△690	(98.7%)
純資産	1,109,369	1,082,878	△26,491	(97.6%)

【役員会等開催報告】

1. 監事監査

令和4年5月23日（月）

令和3年度法人事業経営の監査

2. 理事会

臨時理事会 令和4年4月28日（木）

議題 第1号議案 理事長の解任に伴う改選に関する件

第2号議案 施設長解任決議及び新施設長任命決議の再審議について

第2回理事会 令和4年6月4日（土）

議題 第1号議案 令和3年度事業報告（案）について

第2号議案 令和3年度決算報告（案）について

第3号議案 社会福祉充実計画（案）について

第4号議案 定款の一部変更について

第5号議案 定款細則の新設について

第6号議案 役員報酬規程の一部改正について

第7号議案 定時評議員会の招集について

第3回理事会 令和4年9月30日（金）

議題 第1号議案 給食業務の委託先変更について

第2号議案 育児介護休業等に関する規程の全部改正について

第3号議案 福利厚生に関する要綱の改正について

第4回理事会 令和5年1月20日（水）

（書面決議）

議題 第1号議案 給与規程の改正（案）について

第5回理事会 令和5年3月22日（水）

議題 第1号議案 令和4年度補正予算（案）について

第2号議案 令和5年度事業計画（案）について

第3号議案 令和5年度当初予算（案）について

3. 評議員会

臨時評議員会 令和4年4月19日（火）

- 議題 第1号議案 理事会における施設長解任について（解任事由、解任に至る経緯、
処分の相当性などの説明を受け、評議員会として意見をまとめること）
第2号議案 理事の任免について

第2回臨時評議員会 令和4年4月28日（木）

- 議題 第1号議案 理事・監事の選任について

定時評議員会 令和4年6月21日（木）

- 議題 第1号議案 令和3年度 事業報告書の承認について
第2号議案 令和3年度決算報告書の承認について
第3号議案 社会福祉充実計画の承認について
第4号議案 定款の一部改正の承認について
第5号議案 定款細則の新設について
第6号議案 役員報酬規程の一部改正の承認について

事務局

1 法人事務

[報告事項]

- 1) 介護福祉職員等処遇改善加算特例交付金およびベースアップ等手当の事務処理を実施し、法人職員へ支給することができた。
- 2) 税理士との打合せを月1回行い、適切な会計処理に努めた。
- 3) 施設備品は、経年劣化による破損等があり、修繕が多く発生した。
- 4) 給食・運転業務の委託先を変更した。
- 5) 時間外勤務の実態把握に努めた。
- 6) ハピネス通信、SNS、掲示板にて利用者の日常の様子等、法人からの発信を積極的に行った。
- 7) 職員採用のため求人媒体を活用した。

2 防犯、防災計画

[報告事項]

- 1) 総合避難訓練 当初8月と11月を予定していたが、コロナの為に実施できず3月1日に実施。震度6強の地震により火災発生を想定。119番への通報訓練、館内放送、避難誘導、初期消火（模擬動作）を含む訓練を実施。
- 2) 夜間想定避難訓練 3月を予定していたが、コロナの影響を考慮し、12月11日に実施した。夜間（23:00）に火災が発生した事を想定、火災発見から通報、利用者の避難誘導訓練を実施した。

3 食事提供

[報告事項]

- 1) 食事形態を話し合い、利用者の状況に合わせて適宜変更を行った。
- 2) 行事食は季節のメニューを月1回のペースで提供し、ステイホームパーティーやクリスマス会、季節の行事等に合わせた特別メニューやリクエストで新メニューを実施した。
- 3) 体重が急激に減少してしまった方へは、医務室と連携し、補助食やメニューの改善を行った。
- 4) タンパク質、カルシウム、鉄分等の摂取に注意し、適切な食事提供に努めた。

障害者支援施設ハピネス浜野

(生活介護・施設入所支援・短期入所)

目標

- ・利用者が安全かつ快適に利用できる生活の場となるように、サービスの向上を図る。
～清掃・消毒に努め、感染症や事故予防に努める～
- ・個別支援計画のもと、サービスの提供並びに記録を確実に行う
～行事・日中活動の計画的な実施と利用者支援の質の向上～

[報告事項]

- 1) 入所利用者の新型コロナウイルスクラスター発生の為、フロアごとの支援を遵守した。
検温や消毒を随時行い、健康管理、衛生管理に努めた。
- 2) 通所、短期入所の利用自粛もあり、収益は前年度を下回った。

【利用者年齢構成】

令和5年3月31日時点

		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計(人)
入所利用者	男	0	1	1	4	4	6	0	16
	女	0	0	2	4	3	5	1	15
通所利用者	男	0	10	6	1	2	1	0	20
	女	0	6	1	2	1	0	0	10
計		0	17	10	11	10	12	1	61

【利用者平均年齢】

入所利用者 54歳

通所利用者 34歳

生活介護

目標

- ・快適な時間が過ごせるよう、送迎車の安全な運行、感染対策、日中活動の充実を図る
～家族・他事業所・他部署との連携を密にする～

[報告事項]

1) 日中活動

フードスライダーを実施し、スタッフの連携を図って児童との交流を深める活動を実施した。中庭でのプール活動は昨年の経験をもとに、準備から後片付けまで感染と安全の対策を図って少人数のグループで楽しく行えた。

スポーツフェスティバルやハロウィンパーティー等、例年とは一味違った内容で楽しむことができた。

2) 日々の生活場面

可能な限り利用者にマスク着用を促し、入所利用者と通所利用者の活動分離は継続した。自宅からの健康チェックカードの記入の確認と、自家送迎利用者の玄関での受け入れを徹底した。登所時の健康観察で発熱等があった時は速やかに家族に連絡し迎えをお願いした。また施設内の換気の励行、食事や活動時は三密を避けた配置を行った。陽性者が複数出た時期には、2週間通所部門を休業した。マチコミメールを活用し家族への一斉連絡を行い、迅速な情報発信に努めた。

3) 他施設との連携

生活介護を併用している利用者や他事業所からの感染に関する連絡には即座に対応した。また、通所利用者へは9/12～9/25の10日間利用の自粛をお願いし、感染拡大予防に努めた。

4) 送迎サービス

ドライバーと添乗員が協力し、運行中の車内の換気や消毒を実施した。

【資金収支計算書による計画・実績】

	計画	実績	差異
利用者延べ人数 (名)	13,728	12,558	△1,170
1日あたり平均利用者数 (名)	52.6	50.0	△2.6 (95.1%)
事業収入 (千円)	207,975	201,538	△6,437 (96.9%)

【直近5年間の利用者の推移】

	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
利用者定員 (名)	60	60	60	60	60
1日あたり平均利用者数 (名)	52.3	52.5	52.3	52.1	50.0
稼働率 (%)	87.1	87.5	87.2	86.7	83.3
稼働日数 (日)	256	262	261	259	261
利用者延べ人数 (名)	13,394	13,763	13,649	13,587	12,558
事業収入 (千円)	197,680	205,828	208,869	211,876	201,538
平均障害支援区分	5.3	5.7	5.5	5.8	5.7

施設入所支援

目標

- ・利用者の日々の心身の変化を理解し、感染・事故予防に努める。
- ・福祉用具等を活用することで環境を整え、安全で適切な支援に努める。

[報告事項]

1) 健康管理・感染対策	<p>医務室と連携を図り、利用者の体調の変化に留意し、早期発見、早期治療に繋がった。休日の健康管理を十分に行い、体調不良が疑われた際には、連絡が取れる体制を作った。</p> <p>食事や活動時は三密を避けた配置を継続し、利用者へ消毒やマスク着用を促した。陽性者が出た際は、ゾーニングの実施、各居室での対応、消毒の徹底に努めた。家族との連絡調整を行い、状況に応じて外出泊の中止や変更をお願いした。</p>
2) 活動等について	<p>市のスポーツ大会や諏訪神社節分祭等、実施された行事には参加した。しかし、今年度は陽性者のクラスターが発生する事態となったため、ステイホームパーティーは中止となったが、内容の一部をハロウィンパーティーで実施できた。また、休日のねむの木広場で、スポーツフェスティバル、肝試し、出張回転寿司など例年になく企画を楽しむことができた。</p>
3) 利用者懇話会（今年度は1回のみ実施）	<p>施設からの連絡事項の伝達や、利用者との意見交換を行った。</p>
4) 支援内容等	<p>感染対策や利用者の心身の状況から職員配置を見直し、3階に必ず職員1名を配置し、リニューアルした3階浴室も使用しながら利用者支援にあった。</p>

【資金収支計算書による計画・実績】

	計画	実績	差異
利用者延べ人数（名）	11,497	11,170	△327
1日あたり平均利用者数（名）	31.5	30.6	△0.9（97.1%）
事業収入（千円）	91,284	78,217	△13,067（85.7%）

【直近5年間の利用者の推移】

	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
利用者定員（名）	32	32	32	32	32
1日あたり平均利用者数（名）	30.8	30.8	31.4	31.5	30.6
稼働率（%）	96.2	96.2	98.1	98.4	95.6
稼働日数（日）	365	366	365	365	365
利用者延べ人数（名）	11,264	11,302	11,462	11,493	11,170
事業収入（千円）	69,536	73,591	75,549	78,421	78,217
平均障害支援区分	5.3	5.4	5.3	5.4	5.3

短期入所

目標

- ・利用者や家族の生活状況に応じ、希望に沿って利用できるよう調整に努める。

[報告事項]

- 1) 送迎時に家族の健康チェックと健康チェックカードを配布し、自宅での健康状態の把握に努めた。また、マチコミメールの登録を呼び掛け、迅速な情報発信に努めるとともに、陽性者発生時は現状を伝え、感染拡大予防の為に利用自粛をお願いした。
- 2) 恒常的に利用する利用者はできる範囲で希望に沿った利用ができるよう調整を行った。緊急な延長や変更についても柔軟に対応した。
- 3) 生活介護（通所）利用の見直しをきっかけに、新規や久しぶりの利用者が数名あり、今後の短期入所の利用につげることができた。

【資金収支計算書による計画・実績】

	計画	実績	差異
利用者延べ人数（名）	1,934	1,345	△589
1日あたり平均利用者数（名）	5.3	3.7	△1.6（69.8%）
事業収入（千円）	16,769	17,680	911（105.4%）

【直近5年間の利用者の推移】

	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
利用者定員（名）	6	6	6	6	6
1日あたり平均利用者数（名）	5.0	5.2	5.3	4.9	3.7
稼働率（%）	83.3	86.6	88.4	81.6	61.7
稼働日数（日）	365	366	365	365	365
利用者延べ人数（名）	1,825	1,917	1,935	1,791	1,345
事業収入（千円）	23,642	23,427	23,925	22,944	17,680
平均障害支援区分	5.5	5.3	5.8	5.7	5.5

医 務 室

[報告事項]

- 1) 医務室対応通院
・発熱 ・尿路感染3名：14回 ・乳がん検診1名 ・耳、大腿部蜂窩織炎2名 ・外耳炎1名 ・食欲不振による体調不良1名 ・吐血1名 ・肺炎1名 ・褥瘡処置1名 ・皮膚科受診2名1回/月 ・コロナ感染症に伴い受診（電話対応含む）16名 ・尿カテ交換1名。
- 2) 皮膚科通院
コロナ感染対応のため2ヶ月/1回通院継続とした。その他の皮膚症状に関しては嘱託医に訪問診療時相談対応とした。
- 3) 日々の体調管理と服薬管理として、毎月1回嘱託医が入所利用者の診察を実施した。
- 4) 月2回の歯科医師による訪問診療では入所利用者中心に検診と歯石除去、虫歯治療や入れ歯の作成などが実施された。
- 5) 入所者10名（希望者）に大腸がん健診実施、結果9名陰性。1名は陽性であったが主治医・家族と相談し経過観察となる。
- 6) コロナワクチン4回目を9・10・11月にかけて入所利用者25名+セレニテ利用者5名+ショートステイ利用者1名接種実施。（入所の残り7名は希望なし4名・発熱1名・入院中1名・かかりつけ医にて接種1名にて接種せず）
インフルエンザ予防接種12月に32名（入所28名+セレニテ3名+S S利用者1名）接種。（入所利用者3名内2名は体調不良・1名は希望されず）
- 7) 令和4年9月より令和5年2月まで入所利用者16名のコロナ感染症罹患者が出たが、感染専門ナース・保健所・嘱託医と相談し感染対応に努めた。又死亡者や入院となる重篤症状もなく回復に向かうことができた。感染対策として発生時にはPPE装着、毎日の館内消毒、また利用者、職員へのソーシャルディスタンス、マスク着用、手洗いの必要性を伝え、感染対策への意識付けを行った。
- 8) 施設利用者の病状変化に伴い医療ケア（尿留置カテーテルの交換と管理、経管栄養、気管内、および口鼻腔内吸引、呼吸管理など）を実施した。
- 9) 利用者の体重・栄養面での観察、栄養士と共に栄養マネジメントを実施し、体重減少者に対しては嘱託医診察時に相談し、栄養補助（エンシュア等）にて体重管理を行った。
- 10) 入所利用者31名と短期入所利用者1名に定期健康診断を年2回実施、結果は嘱託医および家族に連絡し、主治医への連携も図った。
- 11) 今後さらに利用者の障害に伴い医療ケアの必要度と身体的な急変時対応が必要になってくると思われる。疾病予防や早期発見に力を入れるとともに職員全体で利用者の変化に気付き、感染予防と健康の維持に努めていきたい。
- 12) 救急搬送4件
入所利用者1名は、搬送後加療のため入院となり、退所となった。
通所利用者1名は、心肺停止状態で搬送し、死亡が確認され対応した。

訓 練 室

[報告事項]

- ・リハ計画書に基づき、リハビリを実施した。
- ・車いす等の修理等は必要に応じて実施した。

【利用者行事等実施報告】

月	行 事	場 所	行事食・その他
4月	お花見外出（2日、3日、9日、10日）	千葉ポートパーク	春の桜御膳
5月	千葉県障害者スポーツ大会（8日） スポーツフェスティバル 【入所】（21日、22日）	青葉の森公園陸上競技場 ねむの木広場	端午の節句メニュー コロナワクチン接種
6月	スポーツフェスティバル 【通所】（20日～24日） ハピネスオセロ大会（26日～28日）	ねむの木広場 各階フロア	リクエストメニュー
7月	七夕飾り フードスライダー（13日～）	各階フロア 犬走り、ねむの木広場	七夕メニュー
8月	プール活動（1日～31日）	中庭	精進料理 パーティーメニュー
9月	ステイホームパーティー（24日）→中止（イベント食は提供）		月見ハンバーグ コロナワクチン接種（65歳）
10月	ハロウィンパーティー、ペッパージャンけん大会（31日）	各階フロア	ハロウィンメニュー パーティーメニュー コロナワクチン接種
11月			リクエストメニュー 利用者健康診断
12月	クリスマス会（23日）	各階フロア	クリスマスメニュー 冬至メニュー 年越しそば インフルエンザ予防接種
1月	新年会、出張回転寿司（27日）	ねむの木広場	おせち料理 七草粥・白玉汁粉
2月	節分祭（3日）	諏訪神社	節分メニュー バレンタインおやつ
3月	ひな壇飾り 懇話会（8日）	ねむの木広場 3階（すずかけ）	利用者健康診断 ひな祭りメニュー ホワイトデーおやつ
毎月	【理美容】 アラモード（第3月曜） 髪人（第3火曜） 【ボランティア活動】 ボッチャ（偶数月 第2水曜） 【その他】 体重測定（1回） 嘱託医診察（1回） 訪問歯科診療（2回） みんなの声ポスト確認（月初） 味ポスト（随時聞き取り）		

千葉県スポーツ大会

待ちに待った3年ぶりの実施となり、5名の参加者は日頃の運動の成果を発揮するとともに、久しぶりの大会の雰囲気を楽しんだ。昼食は感染予防からイオンで各々が食べたい物をテイクアウトし、帰所後1Fねむの木広場で飲食を行った。

ステイホームパーティー→ハロウィンパーティー

前回のハワイから今回はアメリカに飛んで、「アメリカ～新しい時代へ～」をテーマに掲げ、食事はアメリカジャンクフード（ホットドッグ等）とペッパー君をレンタルしてじゃんけん大会を行う予定であったが、感染対策実施となり昼食の提供のみとなる。ペッパー君とのじゃんけん大会は10月31日のハロウィンパーティーで実施した。お化けのアイテム探しゲームと合わせて盛り上がった。

クリスマス会

3密回避と家族とのクリスマスを意識した「アットホームクリスマス」をテーマに掲げ、音楽や装飾でクリスマスの雰囲気を味わい、事前に選んでおいたケーキを食べた。（ケーキは保護者会からプレゼントしていただいた。）手作りフォトブースで写真撮影を行い楽しんだ。

新年会

初の試みとして「出張回転寿司」を『すし銚子丸』様の協力により実施した。銚子丸様のスタッフと職員が一丸となり、ねむの木広場に回転寿司レーンを設置し、握りたてのお寿司の提供で、笑顔があふれる大満足な新年会となった。

行事食

季節感や特別行事を意識し、献立に合わせて食事環境を装飾した。

利用者懇話会

入所利用者の方のみの参加で、感染予防対策や行事、日々の活動、食事について話し合った。

オセロ大会

県身協主催で毎年6月に開催されるが、今年度は感染拡大予防の為、中止となる。

ハーティーコンサート

県身協主催で毎年10月に開催されるが、今年度は感染拡大予防の為、中止となる。

日中活動

【物作り】 季節ごとの室内装飾を塗り絵・ちぎり絵をはじめ、絵の具や紙染めなどいろいろな手法での製作を行った。年度後期は感染者が出たことで、塗り絵が多くなったが、落ち着いた際には少人数で距離を取りながら季節の感じられる制作を行っていた。居室で過ごす時間が増えた利用者も、活動のお誘いをすると参加され楽しまれている様子が見られた。

【園芸】 天候を見ながらひまわりの種まきやプランター栽培、ジャガイモの収穫などを行った。

【料理】 夏のかき氷の他に、クレープ、フルーツポンチ、移動パン屋など提供方法に工夫を凝らした。後期は感染対策の為、自粛した。入所通所利用者に誕生カードを作成し、チェキによる撮影写真を添えて、月の最終水曜日のケーキ提供日にあわせてプレゼントしていた。

【季節行事】 お花見活動、スポーツフェスティバル、肝試し、ハロウィンを実施した。直接利用者の意見を取り入れた内容で実施し、活動内容によっては利用者が主体となり皆を楽しませた。肝試しにおいては、クオリティーがすごいとの意見もあり、利用者、職員からも好評だった。

【音楽活動】 様々な場面で活動を提供した。日中活動では密を避け DVD 鑑賞やイントロドンを実施した。大きなイベントではイベント内容に沿った BGM の作成した。プール活動では防水の Bluetooth スピーカーを使用し音楽を流し活動を盛り上げた。他の日中活動とも連携し、活動中に音楽を流し、音楽を通して彩りのある生活が送れるように努めた。

【レク活動】 利用者からの意見を聞き、オセロ大会や夏季には児童との合同にてプール活動や水を使った遊びを行った。景品やお菓子を用意し、楽しんで参加してもらう事ができた。

【利用者週間活動実施報告】

	午前	午後
月曜日	機械浴(男女) 各種個別活動 機能訓練・相談	各種全体活動 機能訓練・相談 機械浴(男)
火曜日	機械浴(男女) 各種個別活動 機能訓練・相談	機械浴(女) 各種全体活動 機能訓練・相談
水曜日	機械浴(男女) 各種個別活動 機能訓練・相談	各種全体活動 誕生日会(最終週) 機能訓練・相談 体重測定 嘱託医診察(施設入所支援利用者のみ)
木曜日	機械浴(男女) 各種個別活動 機能訓練・相談	各種全体活動 機能訓練・相談 機械浴(男) 訪問歯科(施設入所支援利用者のみ)
金曜日	機械浴(男女) 各種個別活動 機能訓練・相談	機械浴(女) 各種全体活動 機能訓練・相談
土曜日	各種個別活動 居室内環境整備	レクリエーション 居室内環境整備
日曜日	各種個別活動 居室内環境整備	レクリエーション 居室内環境整備

【発見・ヒヤリハット・事故報告】

1) 発見・気づきシート 計94件

発見（利用者）	20
発見（物）	57
不適切	10
連絡	3
気づき	4

発見（利用者）は、居室内の様子も含め、気づいたことをあげている。発見（物）は、主に施設設備に関することであった。

2) ヒヤリハット報告 計142件

移動時	0	薬	3
食事時	4	物損	6
入浴時	3	その他（設備）	19
排泄時	5	その他（利用者）	4
送迎時	9	その他（職員）	21
臥床時	3	フロア移動	5
返却忘れ	21	確認不足	39

年度	R2	R3	R4
件数	206	103	142

報告数は前年より増加した。確認不足とその他（職員）は、利用者の休みに伴う連絡調整忘れや戸締りの失念、記録物への記入漏れ等であった。返却忘れは、通所や短期入所利用者の連絡帳や衣類等であった。その他（設備）は、電球切れや設備の不具合であった。報告内容に対して、リスクマネジメント委員が分類や再発防止に向けた検討を行い、報告者へフィードバックを実施した。

3) 事故報告 計121件

転倒（自立その他）	6	返却忘れ	8
転倒（要介助）	2	物損	33
転落（自立その他）	8	紛失	4
転落（要介助）	6	その他（設備）	3
外傷	10	その他（利用者）	2
服薬ミス	8	離設（施設外）	1
異食・誤飲	0	他害	0
異物混入	5	その他（職員）	24
救急搬送	1		

年度	R2	R3	R4
件数	153	43	121

前年度より、7割増となり、ヒヤリハット報告と同等数となった。物損事故は前年比約5倍の件数であった。物損から大きなけがを伴う事故にはつながらなかったが、送迎車や機械浴槽、車いすの軽微な破損等があった。また、服薬（落薬・残り等）の事故報告が多かつ

た。利用者の洋服を間違えて着用させるなどのケアレスミスやヒューマンエラーもあるが、職員が発見できなかった事柄に関しては事故として報告した。結果的に利用者の身体的損傷等がなくても、ヒヤリハット報告同様、発見・気づき連絡シートから事故と判定したものも含まれている。

【千葉市への事故報告 1 件】

1) 通所利用者 男性 25 歳 区分 6 ADL 全介助

主食副食を 30 分ほどで完食後、汁物やお茶の飲み込みが悪く終了し、口腔ケア時に反応なく、顔面蒼白、心肺停止状態だったため、救急搬送し、搬送先にて処置を施すも死亡が確認された。また、警察による現場検証等が行われた。救急搬送時から家族へ連絡し、説明と謝罪を行った。

【千葉市への感染症報告】

新型コロナウイルス陽性と診断された利用者、職員数を発生日毎に報告し、6 名に達した時点でクラスターとなった。保健所の感染症対策看護師に指導を仰ぎ、拡大防止に努めた。

【苦情等について】

「みんなの声」ポストへの投函はなかったが、新型コロナウイルス感染予防対策のため、家族と施設入所利用者の面会に制限を実施したことから、必要な情報は迅速な連絡と丁寧な説明を心がけて、コミュニケーションを図るよう取り組んだ。

相談支援事業所ハピネス浜野

(計画相談支援・障害児相談支援)

目 標

- ・地域に密着した支援、障害児・者や家族の思いを可能な限り実現できるよう相談を行う。
- ・勉強会や相談支援に必要な研修に参加し、異業種、他事業所との交流に努め、ネットワークを構築していく。
- ・福祉や相談に関する知識・技術の習得に努め、知識・技術に基づいた様々な対応ができる知恵と高い専門性を持てるよう継続的に研鑽を積む。

[報告事項]

- 1) 計画相談支援契約総数 128 名 (令和 5 年 3 月 31 日時点)。新規契約は障害者 1 名。契約終了者は、障害者 4 名。障害児 1 名。内訳は、死亡終了 2 名、サービス利用の希望なし 1 名、介護保険制度へ移行 2 名。
- 2) 新型コロナウイルス流行に伴い、訪問や面会に制限を設けている事業所が多かった。利用者宅への訪問は、事前に希望を確認し、状況に応じて実施した。訪問を希望されない場合は、電話やメール、テレビ電話等様々な方法を活用した。
- 3) サービス提供時モニタリング加算や退院退所加算の他、単独算定可能な入院時情報連携加算を算定した。

【資金収支計算書による予算・実績】

	計画	実績	差異
計画相談支援事業収入 (千円)	4,500	4,061	△439 (90.2%)
障害児相談支援事業収入 (千円)	1,100	1,328	228 (120.7%)
合 計	5,600	5,389	△211 (96.2%)

【直近 5 年間の利用者の推移】

(計画相談支援)

	30 年度	31 年度	2 年度	3 年度	4 年度
計画書作成件数 (件)	83	87	74	74	86
モニタリング件数 (件)	158	238	260	225	179
新規契約件数 (件)	11	7	5	5	1
3 月 31 日時点契約件数 (件)	108	112	111	98	94
事業収入 (千円)	2,644	3,287	4,216	4,709	4,061

(障害児相談支援)

	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
計画書作成件数(件)	44	36	34	43	35
モニタリング件数(件)	77	95	86	73	44
新規契約件数(件)	15	5	7	11	0
3月31日時点契約件数(件)	34	33	34	35	34
事業収入(千円)	1,412	1,526	1,417	2,028	1,328

【ヒヤリハット・事故報告等】

ヒヤリハット 0件 (前年 1件)

事故報告 0件 (前年 1件)

児童通所支援事業所ハピネス浜野

(児童発達支援・放課後等デイサービス)

[報告事項]

- 1) 新型コロナウイルスの感染予防に努めた。
- 2) 固定利用児の利用回数をご家族と相談し、必要に応じ利用日の調整を行った。
- 3) 個別支援計画書の理解に努め、個々の利用児の課題に取り組んだ。
- 4) 特別支援学校や他事業所との連絡を積極的に実施し、情報収集や共有に努めた。
- 5) ヒヤリハットや事故報告が起きた場合は情報共有し、早期に部署内で話し合う時間を持ち、問題点を探り解決方法を見つけられるよう努めた。
- 6) ハピネス通信にて活動の様子を伝えた。
- 7) 新規契約は放課後等デイサービス事業に1名。

【資金収支計算書による計画・実績(児童発達支援事業+放課後等デイサービス)】

	計画	実績	差異
児童発達支援利用者延べ人数(名)	261	326	65
放課後デイ利用者延べ人数(名)	678	519	△159
合計(名)	939	845	△94
児童発達支援1日あたり平均利用者数(名)	1.0	1.3	0.3
放課後デイ1日あたり平均利用者数(名)	2.6	2.1	△0.5
合計(名)	3.6	3.4	△0.2(94.4%)
児童発達支援事業収入(千円)*	1,689	4,370	2,681(258.7%)
放課後デイ事業収入(千円)	15,339	9,849	△5,490(64.2%)
合計(千円)	17,028	14,219	△2,809(83.5%)

*自発は0.2、放デイは0.8で按分

【直近5年間の利用者の推移（児童発達支援事業＋放課後等デイサービス）】

※平成27年10月事業開始

	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
利用者定員（名）	6	6	6	6	6
1日あたり平均利用者数（名）	5.3	4.0	3.7	3.9	3.4
稼働率（%）	88.3	66.6	62.0	65	56.7
稼働日数（日）	256	261	259	259	251
利用者延べ人数（名）	1,378	1,056	963	1,020	845

※令和4年度稼働日数は新型コロナ感染防止対策の為、9/12～9/25の10日間
児童の通所を中止しており、通常261日のところ251日となっている。

児童発達支援

目 標

- ・様々な経験を積み重ね、遊びの中から自発性や、自己表現力を育てる。
- ・療育や訓練を通じて、自発性を発揮できるよう関わる。
- ・集団での活動により、家族以外の大人や子ども同士の関わりを広げる。

[報告事項]

- 1) 『朝のウォーミングアップ』のカリキュラムを作成し継続して取り組んだ事で、自発的に身体を動かしたり、感情表出を促すことが出来た。
- 2) 集団活動は粗大運動や感覚（触・視・聴・前庭・固有）遊び等を中心に実施した。砂場、ボール、パラバルーン、スライム、マットそり、ボールプール、ブランコ、タオルブランコ、エアートランポリン、斜面台、散歩等、色々な経験が出来るよう取り組んだ。
- 3) 夏休み期間中は、プール遊びを実施し、水の感触を経験し、浮力の中で身体を動かして楽しめるよう、環境を整えた。
- 4) 生活介護との合同行事として、フードスライダーを実施した。通所の利用者様と関わる時間をもち、楽しめるよう促した。
- 5) 長期休み期間等、長期休暇は放デイのお友達との関りを楽しめるように支援した。
- 6) お友だちと一緒に、公用車での外出活動を経験出来るよう支援した。

【直近5年間の利用者の推移】

	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
1日あたり平均利用者数（名）	0.5	0.3	0.9	1.2	1.3
稼働日数（日）	256	261	259	259	251
利用者延べ人数（名）	136	84	246	307	326
事業収入（千円）	2,683	993	3,260	4,184	4,370

放課後等デイサービス

目 標

- ・一人ひとりの障害特性を理解し、快適な時間を送れるよう計画・実施する。
- ・様々な経験を積み重ね、活動や他者との関わりの中から、自発性や自己表現力を伸ばす。

[報告事項]

- 1) 触刺激を中心に体幹刺激を入れるカリキュラムを作成し取り組んだ事で、覚醒率が上がり自発的に身体を動かしたり、感情表出を促せた。
- 2) 休み等には小集団で外出活動を取り入れ、月齢に応じ周囲にも興味関心や社会性を付けられるよう、グルーピングや外出場所を考慮し支援した。
- 3) 個別の関りが必要な状況の児童に対しては、1対1でじっくりと関わる時間を設けたり、散歩に出かける等の配慮をし、個々に快適な時間が送れるよう努めた。
- 4) 活動の中に、粗大運動や感覚遊び等を取り入れ、様々な(ボール投げ、ボールプール、タオルブランコ、斜面台、散歩等)経験が出来るよう取り組んだ。また、微細運動(紙ちぎり、新聞遊び、お絵かき、ボードゲーム等)も取り入れる事で、自発的に訴える等の感情表出を促せるように支援した。

【直近5年間の利用者の推移】

	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
1日あたり平均利用者数(名)	4.8	3.7	2.8	2.7	2.1
稼働日数(日)	256	261	259	259	251
利用者延べ人数(名)	1,242	972	717	713	519
事業収入(千円)	21,558	14,652	13,528	13,309	9,849

【行事等実施報告】

月	行事内容	場 所
4月	お花見	ハピネス周辺
5月	端午の節句	ねむの木広場
7月	七夕	ねむの木広場
8月	スイカ割り	ハピネス浜野内の中庭
10月	オータムフェス	中止
12月	クリスマス	ねむの木広場
3月	ひな祭り	ねむの木広場
3月	卒業式	ねむの木広場
*月間活動：誕生会 *外出活動：長期休み時等に小集団にて、グループにあった外出活動を提供 *夏休み：ハピネス浜野内の中庭にてプールを実施 *生活介護と合同行事：フードスライダーを実施		

【ヒヤリハット・事故報告等】

1) 発見・気づきシート 1件

気づき	1
-----	---

おやつが出ていないことに気づいた。

2) ヒヤリハット報告 21件 (前年度 16件)

確認不足	13
活動時	2
返却忘れ	6

確認不足は、欠席に伴う連絡調整不足や私物の入れ間違いなどがあつた。

3) 事故報告 0件 (前年度 3件)

【苦情等について】

なし。

グループホームセレニテ

(共同生活援助)

目 標

- ・利用者の心身の状況に応じた生活スタイルを確立できるよう援助する。
- ・利用者主体で行事の計画を立て、実施する。
- ・適切な財務と運営管理を行う。
- ・2棟目に向けて、他グループホームの情報収集やニーズを把握する。

[報告事項]

- 1) 認定調査による区分見直し区分5から区分6への変更1名(11/1~)
- 2) 新型コロナウイルス感染症対策のため、利用者の買い物同行は1人月1回に留め、外出活動は密にならない場所を選定した。
- 3) 利用者の定期受診の付き添い(皮膚科)2回
- 4) 9月ハピネス浜野の新型コロナ感染症クラスター発生に伴い、利用者の日中支援の体制を整えた。天気の良い日には周辺散歩し気分転換を図った。
- 5) 2月入所利用者1名が濃厚接触者・その後抗原検査陽性となり居室隔離。感染対策として陽性者・濃厚接触者との関りにはPPE装着・N95マスク着用、備品の装脱着、感染対策への意識付けを行った。また毎日の館内消毒、利用者・職員のソーシャルディスタンス、ゾーニングを実施した。
- 6) 利用者1名、薬の過剰摂取の事故(2/28)。かかりつけ医受診後に1か月の医療保護入院となる。(3/3~3/30)職員へ疾患(統合失調症)への理解を深め、ご本人が困ったことがあれば相談できる、気軽に話せるといった関係性を大切にすることの共通認識を図った。

【入居者年齢構成】

令和5年3月31日時点

		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計(人)
セレニテ 入居者	男	0	0	2	0	2	0	0	4
	女	0	1	0	0	1	0	0	2
計		0	1	2	0	3	0	0	6

【資金収支計算書による計画・実績】

	計画	実績	差異
利用者延べ人数(名)	2,117	2,085	△32
1日あたり平均利用者数(名)	5.8	5.7	△0.1(98.3%)
事業収入(千円)	20,344	21,429	1,085(105.3%)

【直近5年間の利用者の推移】 ※平成27年5月事業開始

	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
利用者定員(名)	6	6	6	6	6
1日あたり平均利用者数(名)	5.8	5.8	5.8	5.8	5.7
稼働率(%)	96.6	96.6	96.4	96.6	95.0
稼働日数(日)	365	366	365	363	365
利用者延べ人数(名)	2,120	2,129	2,112	2,120	2,085
事業収入(千円)	18,575	19,168	19,809	20,900	21,429
平均障害支援区分	3.5	3.8	3.8	3.8	4.2

【活動実施報告】

月	活 動	場 所
4月	花見(2日)	千葉こどもの国キッズダム
9月	花火	中止
12月	忘年会(16日)	グループホームセレニテ
1月	新年会(27日)	ハピネス浜野
2月	節分祭(3日)	諏訪神社
毎週土曜日	買い物	ベイシア(八幡店)

【ヒヤリハット報告】

	ヒヤリハット件数
移動時	0件
移乗時	0件
入浴時	1件
服薬時	0件
調理時	2件
返却忘れ・間違い	0件
その他(利用者)	2件
その他(設備)	2件
その他(職員)	1件
合計	8件

前年度 17件

【事故報告】

	事故件数
転倒(自立)	5件
転倒(要介助)	0件
ずり落ち(自立)	1件
服薬	2件
器物破損	0件
異物混入	1件
調理	1件
合計	10件

前年度 9件

【千葉市への事故報告 1件】

1) 入所利用者 男性 54歳 区分4 ADL自立

本人居室にて、一部自己管理にしていた内服薬26錠を服用したのを発見。救急車要請し、救急隊員・警察へ経緯の説明を行っている。救急搬送となり胃洗浄・点滴・採血の処置を行い経過観察のため入院。当日ご家族へ連絡が取れず、翌日に経緯の説明と謝罪を行った。

【法人職員研修・実習生受け入れ等実施報告】

月	研 修 等	実習生等受け入れ
4月	障害者グループホーム等従事職員研修（サービス管理責任者フォローアップ研修）	
5月		介護実習 4-① 2名
7月	安全運転管理者講習 吐物処理研修（内部：感染症対策委員会）	
8月	手洗い研修（内部：安全衛生委員会）	相談援助実習 1名
9月	外国人介護職員の心のケア・コミュニケーション研修 外国人介護職員受け入れ施設向け職場環境改善研修 HSCって？敏感な子供たちの成長をサポートする方法	
10月	HSCって？敏感な子供たちの成長をサポートする方法 キャリアパス研修（管理職員、中堅職員コース） サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者基礎研修 医療的ケア児のための保育所等の看護師及び保育士研修会 千葉県てんかん支援拠点病院ライフステージとてんかん	相談援助実習 1名
11月	HSCって？敏感な子供たちの成長をサポートする方法 キャリアパス研修（初心者コース） サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者基礎研修 福祉サービス苦情解決研修会 千葉県身協職員研修会（インバケット研修）	
12月	現在既に身体拘束が実施されている利用者について、なぜその拘束が必要なのか考える（内部：身体拘束廃止委員会） 成人期施設職員研修会（加齢とともに歩む）	
1月	アセスメントとカンファレンス（支援現場に必要な客観的評価と共有への仕掛け） 社会福祉士実習指導者講習会 アンガーマネジメント研修（内部：虐待防止委員会） サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者基礎研修	
2月	てんかんの基礎知識 自律型組織をつくるためのマネジメント サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者基礎研修	
3月	法令遵守の意味と意義（高齢者虐待防止と権利擁護） オリーブの樹研修発表会	

研修等

・職員それぞれのキャリアパスに応じた資質向上を図るため、全社協キャリアパス対応生涯セミナー等に参加した。

外部研修参加者は、オンラインでの研修が多かったため、記録の回覧とした。

委員会主催で内部研修会を実施した。

実習生等受け入れ

・相談援助実習生を明治学院大学、淑徳大学から各1名ずつ受け入れた。

・京葉介護福祉専門学校より介護実習として、2名の実習生を受け入れた。

*実習生の受け入れは、実習2週間前より検温と毎日の検温、体調把握を行った。

【法人内委員会・諸会議実施報告】

① 安全衛生委員会 … 職員の安全及び労働衛生の改善

[報告事項]

- 1) 職員健康相談の相談数は年間1件で、体調について産業医に相談した。
- 2) 部署内では大掃除を2回、産業医とともに衛生管理者が施設内巡回を1回実施した。
- 3) 手洗い研修(8月): ハンド手洗いチェッカーを使用して洗い残しと手洗い方法の再確認。
- 4) 健康診断(腰痛検査含む)、インフルエンザの予防接種、ストレスチェックを実施した。
- 5) 新型コロナウイルスの感染予防対策について継続して、予防対策の方法について職員への周知・館内消毒・来館者の手指消毒の強化、職員食堂の分離を図った
- 6) 千葉県より全職員の抗原検査のスクリーニングを週2回実施。
- 6) 労災事故: 0件
- 7) 時間外労働超過者: 0件
- 8) 休職者: 1名(保育士)
- 9) 育児休業・育児休業延長者: 1名(生活支援員)

② リスクマネジメント委員会 … 施設全体のリスクマネジメント

[報告事項]

- 1) 月ごとに委員2名が担当となり、報告書のフィードバックを行い、再発防止を図った。また初動の周知としてマウントでの発信を定着させた事で、情報共有が図れた。反面、当事者が発信していない状況も見られ、報告書を発見報告を含めた新しい用紙に変更した。
- 2) 食事変更届等をPC上でシステム化する事で、欠食等に関するヒヤリハットの削減と情報共有化に努めた。
- 3) 温度板(利用者支援の内容や実施有無の確認)の見直しや使用を強化し、統一した介護や情報共有に努める事で、事故やヒヤリハットを起こさない為の活用を図った。

③ 感染症対策委員会 … 施設内感染の予防及び発生防止のための対策と職員教育

[報告事項]

- 1) 入所利用者においてインフルエンザ・感染性胃腸炎等の発生はなかったがコロナウイルス感染症が9月よりクラスターが発生し最終2月までの期間に16名の入所利用者感染を認めた。他部署と連携をはかり職員間の情報の共有と発生時時のPPE装着、毎日の館内消毒、また利用者、職員へのソーシャルディスタンス、マスク着用、手洗いの必要性を伝え、利用者への理解と協力をはかり感染対策への意識付けを行った。
- 2) コロナ感染予防を含めた自己チェックシート配布を年3回実施・ポスター作製など行った。
- 3) 嘔吐物処理演習については職員研修(新人・職員)を行うことで手順を確認し手技の統一を行った。コロナ発生時や発熱時の対応・嘔吐物研修に際し事前に委員間での研修を行うことで情報の共有を図った。

④ 環境改善委員会 … 建物、設備等の改善、福祉サービスの向上

[報告事項]

- 1)生活支援員のユニホームを新しく決め、提供することができた。
(通気性に長けた制服になっており、職員全体の反応もよかった)
- 1) 職員・利用者ともに暮らしやすい&働きやすい環境整備として「顔拭きタオル」の導入。職員エプロンを新調した。
- 2) コロナ対策として1階と2階の食事介助用タオルの色分けし、混在しないようにした。
- 3) 随時環境点検を行い、修繕箇所の修理を依頼した。
(3階リネン庫入口の手すりカバーに亀裂、居室ドアの下部分ラバーシート剥がれ、利用者用トイレの扉のストッパーなど)

⑤ 身体拘束廃止委員会 … 不要な身体拘束のない介護の実践に向けた取り組み

[報告事項]

- 1)新規利用者について、身体状況から車椅子のベルト等の使用状況を確認し、安全に利用できるように検討していった。
- 2)身体拘束に関する同意書の作成、利用者家族への説明および署名をいただいた。
- 3)職員に対して研修を計画、実施した。

⑥ 虐待防止委員会 … 虐待に関する調査と検討 人権擁護・虐待防止のための職員教育

[報告事項]

- 1)虐待の早期発見や自身の振り返りをする為の「職員セルフチェックリスト」は、2回(6月、12月)実施した。
- 2)不適切なケア発生時の委員会としての対応や取り組みについて検討した。
- 3)全職員対象で虐待防止に繋がる研修(アンガーマネジメント)を実施した。新型コロナ等感染症対策として集合研修は見合わせ、資料研修とした。
- 4)虐待・不適切なケア防止に関するポスターを館内各所に掲示し、啓発活動を行った。

⑦ 防犯・防災委員会 … 防災計画の立案・実施と防犯・防災対策の推進、内部研修の実施

[報告事項]

- 1)防災備蓄庫内の整理を行い、備蓄品の在庫数把握ならびに追加購入品の確認を実施した。(新型コロナウイルス関連備品と事前災害関連備品)
- 2)利用者参加で避難訓練(総合、夜間想定)を実施した。

⑧ 行動評価検討委員会 … 行動目標の推進・目標の振り返り・次年度目標作成の実施

[報告事項]

- 1)今年度行動評価項目の見直しを行った。
- 2)行動目標の定着、推進に向けた取り組みを実践した。

⑨ 広報委員会 … 法人・施設の情報提供・広報活動

[報告事項]

- 1)毎月ハピネス通信を発行。利用者・保護者へ配布と館内へ掲示し、外掲示板へは活動の写真等を掲示した。

⑩ 委員長会 … 各委員会の委員長による情報共有

[報告事項]

1) 定期の実施はできなかったが、委員長との情報共有を行った。

⑪ 運営会議 … ハピネス浜野の運営管理

[報告事項]

- 1) 新型コロナウイルス予防策について検討した。
- 2) 利用者関連事項を各部署で検討した。

⑫ 給食会議 … 利用者の食事全般や衛生に関する取り組み、給食委託業者との話し合い

[報告事項]

- 1) 給食委託業者と施設長・栄養士・サビ管・児発管が参加して2か月に1回、利用者の喫食状況の把握、食事形態・量の検討を行い適宜変更し、食事を提供した。
- 2) 行事食の検討および防災食の状況について報告した。
- 3) その他、厨房機器や食器購入、感染症への対策等について確認した。

⑬ 全体会議 … 全職員へ法人・施設の報告事項を伝える

[報告事項]

- 1) 利用者関連事項、事務（給食）、行事関係等を文書により連絡した。

⑭ 経営会議 … 法人、各事業の関係者による運営管理

[報告事項]

- 1) 法人の各事業の運営について検討した。